

三郷 議会だより

Sango

第209号

平成26年11月1日発行

編集 奈良県生駒郡 三郷町議会／広報編集委員会・議会事務局 電話 (0745) 73-2101 (内線291) 直通 (0745) 43-7371



西部保育園運動会

主な内容

- ◆ 平成25年度決算 …………… 2～3
- ◆ 一般質問 …………… 4～5
- ◆ 常任委員会の主な報告 …………… 6～7
- ◆ 議案審議結果 …………… 8

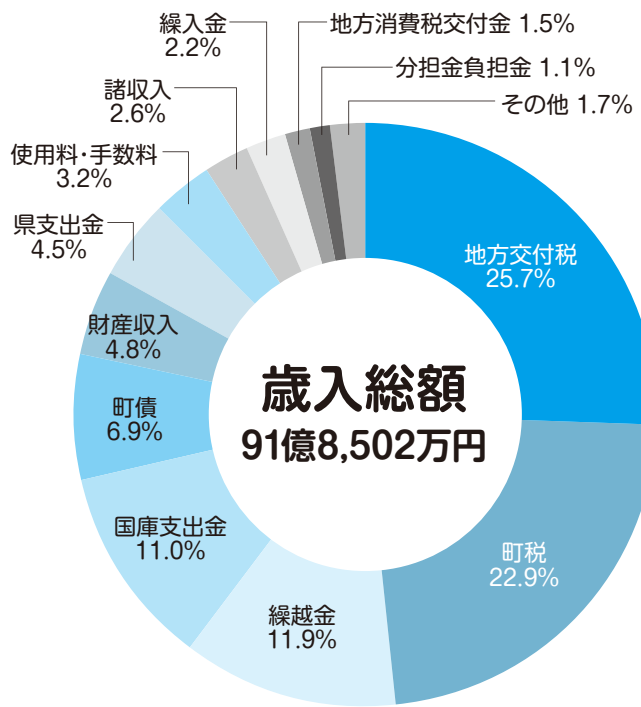
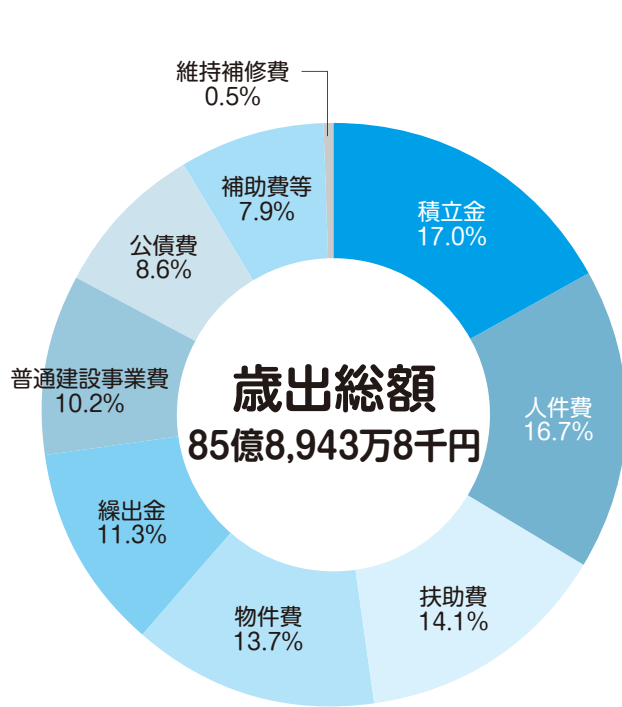
毎月11日は『人権を確かめあう日』です。

普通会計 決算

8,943万8千円



普通会計



※その他…地方譲与税・自動車取得税交付金・株式等譲渡所得割交付金など



普通会計とは…一般会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計・し尿浄化槽管理特別会計・公共用地先行取得事業特別会計・勢野北部用地整理事業特別会計の5会計の合計です。

準公営企業会計・その他事業会計

会計区分	歳入	歳出	差引額
下水道事業	7億4,643万6,127円	7億4,627万9,018円	15万7,109円
国民健康保険	25億6,029万9,702円	24億7,356万9,717円	8,672万9,985円
介護保険事業	15億2,011万4,081円	15億3,249万3,087円	△1,237万9,006円
後期高齢者医療	2億7,287万7,541円	2億7,260万5,241円	27万2,300円
合計	50億9,972万7,451円	50億2,494万7,063円	7,478万 388円

平成26年第3回 9月定例会

9月5日～19日(15日間)

平成25年度 85億

財政健全度からわかる財政状況

三郷町の財政健全化判断比率(平成25年度) (単位:%)

	実質赤字 比 率	連結実質 赤字比率	実質公債費 比 率	将来負担 比 率
三 郷 町	—	—	3.4	—
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	30.0	35.0	

平成25年度決算に基づく三郷町の財政健全化判断比率については、実質赤字比率・連結実質赤字比率は、黒字決算のため算出されませんでした。

また、左表のとおり、実質公債費比率は3.4%(平成24年度時は5.0%)となり、すべての比率において基準値を下回っています。

平成25年度決算審査意見書(要約)

平成25年度の決算内容を視ると、歳入では町税において個人町民税で景気回復の兆しが見えつつも個人所得に反映されず、対前年度比10,421千円の減、一方、固定資産税においては家屋では新築が勢野北部を中心に増となったものの土地の下落等もあり、対前年度比4,070千円の減となり、町税収入全体で対前年度比20,506千円の減となった。

次に県支出金では介護基盤緊急整備事業補助金等が減となったことにより、67,688千円の減、また財産収入では勢野北部土地売却収入等が減となり、対前年度比366,831千円の減となった。さらに繰入金では財政調整基金繰入金が減となったこと等により、1,016,099千円の減となった。

他方、地方交付税では対前年度比48,666千円の増、また国庫支出金では社会資本整備総合交付金並びに自立支援介護給付費負担金等の増により、対前年度比376,974千円の増となった。さらに町債では臨時財政対策債の発行増等により、対前年度比374,000千円の増となったが、歳入全体としては対前年度比10,960千円の減となった。

主な歳出では、従前より組織、機構の簡素合理化、適正な定員管理、給与・手当の適正化に加え、歳出全般にわたる執行管理の徹底を図るとともに、補助金の整理合理化をはじめとして事務事業の見直し等、経費の節減に努めてきているが、平成25年度の主な内容を性質別に視ると人件費は対前年度比36,160千円の増、扶助費は対前年度比95,949千円の増、一方、公債費においては昭和62年度借入れの住宅地区改良事業並びに平成14年度借入れの臨時財政対策債等の償還が終了したことにより、対前年度比73,078千円の減となったが、義務的経費(人件費、扶助費、公債費)においては総額59,031千円の増となり、義務的経費の一般財源所要額に占める割合は38.4%となり、前年度より1.2ポイント増加している。

また、投資的経費では普通建設事業が対前年度比958,855千円の減となった主な要因は、前年度実施した

勢野北部保留地購入(1,000,000千円)及び公社地買戻し(511,412千円)によるものである。

その他では、積立金が対前年度比1,321,148千円の増となった。主な要因は、公共施設整備基金積立金及び財政調整基金積立金等によるものである。

また、物件費で91,610千円の増、維持補修費で25,539千円の減、補助費等で43,947千円の減、繰出金で44,165千円の増となった。

以上、歳入では、町税収入が景気回復の兆しがあるものの個人所得にあまり反映されず若干減少したにも関わらず、地方交付税の交付額を厳しく見込んだ結果、予算額を上回る交付額になったこと、一方、歳出では公債費、人件費をはじめ基金への積立など将来への財政負担もよく考慮され、健全な財政運営が行われている。

しかしながら、今後の財政運営は公債費の漸減が予想されるものの、施設の老朽化、耐震化等による維持補修費、普通建設事業費及び扶助費等の増が見込まれ、財政運営はますます厳しくなるものと予想される。

従って、今後とも引き続き事務事業の見直し、物件費、補助費等の経費の抑制を積極的に行うとともに、従前より以上に創意と工夫を凝らし、各種の事業を効率的、効果的に執行するよう努められたい。

また、税収の確保について、平成25年度は、町税の徴収率(現年・滞繰分)が89.7%と前年度より、0.4ポイント低下し、町税の収入未済額(現年・滞繰分)が239,134千円で前年度230,902千円より、8,232千円の増となった。

このような状況にかんがみ、引き続き課税客体的確な把握、滞納整理の着実な実施を図るとともに、徴収体制の強化により一層の努力をはらわれたい。

基金の運用については適正に処理されているが、引き続き効率的運用に努められたい。

三郷町監査委員

認知症高齢者の行方不明対策について

情報の発信方法や発信内容等を協議し、システム構築に向け検討します。



認知症高齢者の行方不明が大きな社会問題になっている。2013年度に警察庁が行方不明の届出を受理した「認知症またはその疑い」がある高齢者の数は、10,322人。約98%は1週間以内に見つかっているが、保護したものの身元が分からないという例も増えている。三郷町でも、行政と民間事業者、地域住民との協働の取組みを進めるべきと思うが、町の考えは。

掲載しております一般質問は、通告書による質問に対して1回目の回答の要旨を掲載しています。再質問やそれらに係る回答、また掲載以外の質問等については、会議録に詳しく掲載しております。
会議録は議会事務局、町立図書館で閲覧できますが、発行時期等詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

A 現在、65歳以上の4人に1人の方が認知症またはその予備軍であるといわれています。
本町においては、介護認定の申請時のチェック項目と主治医の意見書から、認知症の疑いのある方は、約940名（介護認定の申請をされていない方を除く）と推測されます。
本町で、本年に入り高齢者の方が行方不明になるといった事象が2件発生しましたが、防災行政無線の活用により大事には至りませんでした。
そんな中、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けていただくため「認知症初期集中支援チーム」を設置し、サポート体制を構築しているところです。
また、平成25年2月に「暮らしのネットワーク」事業を立ち上げ、町内の53ヶ所の事業所等のご協力を得ながら高齢者等の見守りを行っているところですが、これは何か異変があった場合、事業所等から役場へ連絡が入り、徘徊により行方不明になられた方の情報を共有するシステムが構築できるものであります。
今後、情報の発信方法や内容等詳細について、認知症初期集中支援チームほか関係機関、団体と協議を行い、システム構築に向け検討してまいります。

水道事業基本計画実施の財源をどうするのか？

国庫補助金の確保、積立金等の活用、企業債の新規発行の財源を考えています。



今年度から10年間の基本計画が策定され、施設改良費など25億6,500万円の工事費が予定されている。これが実施されると減価償却費や支払利息は膨らんでいき、水道事業会計は、年度を追うごとに赤字が増大する。

町は、どのように財源を確保しながら計画を実施するのか。

A 三郷町水道事業基本計画は、安全な水の供給を将来にわたって継続していくために策定したもので、総額25億6500万円の事業として老朽化対策・耐震化対策を実施してまいります。
財源については、①国庫補助金をできるだけ多く確保すること、②積立金の活用（平成25年度決算時9832万5千円）、③未処分利益剰余金の活用（平成25年度決算時6558万円）、④企業債の新規発行の財源を考えています。
なお、企業債の発行に伴って発生する収支の不足分については、内部留保資金（減価償却費など、現金の支出の伴わない費用計上によって生じた資金）で補填してまいります。
現在、推計される状況では、内部留保資金の範囲内と見込んでおりますが、不測の事態により運転資金に不足が生じるようなことになれば、水道料金の見直しも考慮しなければなりません。
水道事業は、住民の皆様の命を守るライフラインであることから、老朽化対策・耐震化対策は避けて通ることのできない事業であります。活用できる財源を適正に活用し、効率的で効果的な施設更新を行い、長期的な視野に立った水道事業運営に努めてまいりたいと考えます。

奈良交通バス信貴山線の経路変更と新路線の要望について

来年4月開通に向け実施していきます。



王寺駅北から信貴山下駅経由信貴山行きを信貴山下駅から城山台自治会館前、城山台3丁目、城山台5丁目経由で信貴山門前行きの経路に変更してほしい。また、王寺駅北から町道矢倉谷線経由、勢野北部イーストヒルズ地内を經由して三郷駅行き往復の新規路線を設けてほしいが町の考えは。

A

本町におきましても既存の路線バスの減便や廃線により、地域住民の方々からも路線バスの再編・充実を求める声をいただき、行政としてはその必要性を十分に認識した上で、これまで関係機関と調整を図ってきました。

バス路線のあり方について、運行事業者である奈良交通株式会社とはこれまで20回にわたり協議を重ねてきました。その結果、城山台地区の方々の利便性向上を図るため、既存のバス路線であります「信貴山線」の運行ルートを現行どおり町道「勢野中環状線」を經由するルートと、新たに城山台3丁目・5丁目バス停を經由するルートを設定し、両ルートを交互に運行したいと考えます。

次に、「三郷線」の再編であります。現在、JR三郷駅から城山台を經由して近鉄信貴山下駅へと運行しておりますが、この路線をJR三郷駅を基点とし、城山台5丁目バス停を經由、そのままイーストヒルズ勢野、三郷中央公園を經由してJR王寺駅北口に乗り入れるルートに変更して運行したいと考えているものです。

なお、「三郷線」のルート延伸に伴い、一部、バス停の位置に關しても道路形態や住宅地内の状況などを考慮し、警察協議も踏まえ新たな

なバス停の改修も必要になることが想定されますが、全ての許認可や準備を早期に完了し、来年4月開通に向け実施していきます。



平成26年第3回(9月)定例会 その他の一般質問

- ☆三郷中央公園多目的広場について
- ☆給食について
- ☆介護予防・日常生活支援総合事業の充実に向けて
- ☆新公会計制度導入に向けて
- ☆議会・選挙への関心を高めるために
- ☆子ども・子育て支援新制度について
- ☆福祉医療費助成の所得制限の廃止を
- ☆小・中学校の普通教室にエアコンを



平成26年9月5日開催

総務建設 常任委員会

▶開会日
平成26年9月11日(木)
午前9時30分～

同意第1号

副町長の選任につき同意を求めること
について

(全会一致原案同意)

氏名 梶井 博之
住所 三郷町勢野東3丁目
8番15号

生年月日 昭和28年8月15日

同意第2号

固定資産評価審査委員会委員の選任
につき同意を求めることについて

(全会一致原案同意)

氏名 内匠 紀一郎
住所 三郷町城山台4丁目
5番13号

生年月日 昭和15年2月10日

諮問第2号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見
を求めることについて

(全会一致適任)

氏名 寺内 一秀
住所 三郷町立野南2丁目
24番30号

生年月日 昭和24年10月2日

認定第2号

平成25年度三郷町一般会計・特別会計
歳入歳出決算の認定について

(賛成多数原案認定)

Q & A

Q 東部自治会館が夕陽ヶ丘自治
会館に。

A 土地、建物ともに町の所有で
ある東部自治会館は、県道橋
井王寺線拡幅事業に伴い、平成27
年4月以降に新しく夕陽ヶ丘自治
会館として建設されます。

なお、東部自治会館に係る補償
額については、県との協議がまだ
であるため現段階では確定してい
ません。

認定第3号

平成25年度西和消防組合一般会計歳
入歳出決算の認定について

(全会一致原案認定)

この決算の認定は、本年4月1
日に奈良県広域消防組合が設立さ
れ、本年3月31日で西和消防組合
が解散し打切り決算となることか
ら、奈良県広域消防組合規約の規
定により、構成7町(三郷町、平
群町、斑鳩町、安堵町、上牧町、
河合町、王寺町)において、それ
ぞれ決算審査、認定を行うもので
す。



【監査委員の審査の結果・意見】

審査に付された平成25年度西和
消防組合一般会計歳入歳出決算等
を審査した結果、いずれも計数的
に正確であり適正に運用されてい
るものと認めます。

今後は、業務を引き継いだ奈良
県広域消防組合において、地域住
民の生命と財産を守るべく、従来
にも増して安心して暮らせる充実
した消防業務及び救急業務に努め
られるように要望します。

文教厚生 常任委員会

▶開会日
平成26年9月8日(月)
9月9日(火)
午前9時30分～

同意第2号

教育委員会委員の任命につき同意を
求めることについて

(全会一致原案同意)

氏名 澤 美穂
住所 三郷町美松ヶ丘東1丁目
7番20号

生年月日 昭和46年7月26日

可決された意見書

発議第7号

子どもの医療費助成制度を通院も中学校卒業まで
拡充し窓口払いをなくすことを求める意見書

子どもの健やかな成長を応援する制度として、子どもの医療費助成制度が全国の自治体で実施されています。

奈良県の制度は、現在入院が中学校卒業まで、通院は小学校入学前までの助成となっていますが、私たち三郷町を含む県下の多くの市町村で、独自に助成年齢を拡充しています。

また、奈良県では、いったん窓口で支払い、一部負担金(外来500円/月、入院1000円/月)をのぞいて、後日、口座に振り込まれる「自動償還払い」の制度になっています。所得の少ない世帯が多い子育て世代にとって、窓口の負担は受診をためらうこととなり症状を悪化させることにもなります。

全国では、すでに36の都府県で現物給付(窓口払いなし)の制度になっています。よって、奈良県に対して下記のことを求めます。

記

- 一、奈良県として通院も中学校卒業まで助成を拡充すること。
- 一、奈良県として窓口払いなしの制度にすること。
- 一、国会では、子どもの医療費助成の国での制度化に関する請願が何度も可決されている。県として国で制度化されるよう要望すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

2014年9月19日
奈良県三郷町議会

(提出先) 奈良県知事

認定第23号

平成25年度三郷町一般会計・特別会計
歳入歳出決算の認定について
(賛成多数原案認定)

Q & A

Q 図書館の利用者が減った理由
は?

A インターネットからの図書等の予約(3915名)、貸出期間の延長(4766名)をされる方が増えたことが要因と考えます。



議案第34号

平成26年度三郷町一般会計補正予算
(第2号)
(全会一致原案可決)

Q & A

Q 精神障害者医療費助成制度の
拡充について

A 奈良県では本年10月から精神障害者保健福祉手帳1・2級をお持ちの方が、福祉医療制度と同様に精神疾患以外の全診療科の入院・通院についても、医療費の助成が受けられるように制度が拡充されることとなりました。
なお、助成金は自動償還払いとなっております。

9月

- 5日 第3回定例会本会議
- 8日 文教厚生常任委員会
- 9日 文教厚生常任委員会
- 11日 総務建設常任委員会
- 17日 上下水道特別委員会
- 19日 全員協議会・本会議
- 24日 例月現金出納検査

10月

- 16日 財政援助団体の監査
(シルバー人材センター)
- 17日 生駒郡町村議会議員研修会
- 22日 生駒郡町村議会議長会
例月現金出納検査

議会のひびき

平成26年第2回（7月）三郷町議会臨時会

7月17日(木)

議案	議案	審議結果
議案第31号	平成26年度三郷町立学校給食センター建設工事請負契約の締結について	全会一致原案可決
議案第32号	平成26年度三郷町立学校給食センター厨房設備工事請負契約の締結について	全会一致原案可決
議案第33号	平成26年度町道勢野北美松ヶ丘線舗装その他工事（社会資本総合整備事業）請負契約の締結について	全会一致原案可決 ※委員会付託なし

平成26年第3回（9月）三郷町議会定例会

9月5日(金)～9月19日(金)

議案	議案	審議結果	付託委員会
同意第1号	副町長の選任につき同意を求めることについて	全会一致原案同意	総務建設常任委員会
同意第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	全会一致原案同意	総務建設常任委員会
同意第3号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全会一致原案同意	文教厚生常任委員会
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	全会一致適任	総務建設常任委員会
承認第8号	訴訟上の和解についての専決処分について	全会一致原案承認	文教厚生常任委員会
認定第2号	平成25年度三郷町一般会計、特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数原案認定	全委員会
認定第3号	平成25年度西和消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について	全会一致原案認定	総務建設常任委員会
議案第34号	平成26年度三郷町一般会計補正予算（第2号）	全会一致原案可決	{総務建設常任委員会 文教厚生常任委員会
議案第35号	平成26年度三郷町し尿浄化槽管理特別会計補正予算（第1号）	全会一致原案可決	上下水道特別委員会
議案第36号	平成26年度三郷町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致原案可決	上下水道特別委員会
議案第37号	平成26年度三郷町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致原案可決	文教厚生常任委員会
議案第38号	平成26年度三郷町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	全会一致原案可決	文教厚生常任委員会
議案第39号	平成26年度三郷町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全会一致原案可決	文教厚生常任委員会
議案第40号	平成26年度三郷町勢野北部用地整理事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致原案可決	総務建設常任委員会
議案第41号	三郷町保育園における保育等に関する条例の一部改正について	全会一致原案可決	文教厚生常任委員会
議案第42号	三郷町一時預かり事業に関する条例の一部改正について	全会一致原案可決	文教厚生常任委員会
議案第43号	三郷町ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正について	全会一致原案可決	文教厚生常任委員会
議案第44号	三郷町公営住宅管理条例の一部改正について	全会一致原案可決	総務建設常任委員会
議案第45号	平成25年度町道勢野北美松ヶ丘線道路築造工事（社会資本総合整備事業）請負変更契約の締結について	全会一致原案可決	総務建設常任委員会
議案第46号	平成26年度三郷町水質改善下水道汚水管築造工事（勢野東7工区）請負契約の締結について	全会一致原案可決	上下水道特別委員会
議案第47号	財産の取得について	全会一致原案可決	総務建設常任委員会
議案第48号	債務弁済協定の調停の申立てについて	全会一致原案可決	本会議（2日目）
報告第8号	平成25年度三郷町の財政の健全化判断比率等について	報告受理	{総務建設常任委員会 上下水道特別委員会
報告第9号	訴えの提起についての専決処分の報告について	報告受理	総務建設常任委員会
報告第10号	三郷町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果について	報告受理	文教厚生常任委員会
報告第11号	公益財団法人三郷町文化振興財団の経営状況について	報告受理	文教厚生常任委員会
発議第6号	「海外で戦争する国」にする集団的自衛権行使容認に反対する意見書	賛成少数原案否決	総務建設常任委員会
発議第7号	子どもの医療費助成制度を通院も中学校卒業まで拡充し窓口払いをなくすことを求める意見書	全会一致原案可決	文教厚生常任委員会

編集後記

9月27日の御嶽山噴火により、多くの尊い命が犠牲になりました。心からご冥福をお祈りします。また、被害に遭われました方に心からお見舞いを申し上げます。

ここ最近、朝晩と肌寒くなってきました。スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、芸術の秋、一年で一番気候のよいこの時に、子どもから大人、全ての皆様が心身ともに大きく飛躍していただきたく思っております。

四大会のひとつである全米オープンテニス決勝まで進んだ錦織圭選手、決勝では惜しくもチリッチ選手に敗れてしまいましたが、その直後に行われた大会では、2回連続で優勝されました。

日本のテニス愛好家の子ども達に大きな希望と勇気を与えてもらったと思います。